

# 仰ぎて聖し わが学び舎

第12号

担当 教頭 吉越 利充

<https://hakubac.hakubajh.ne.jp/>

## 白馬未来図 10/21(金)・25(火)

ゲスト  
白馬村長 丸山俊郎  
岩岳リゾート 和田 寛  
HIS 草本朋子  
さくら不動産 橋本旅人  
SDGslab 渡邊宏太



## ゲストは生徒を未来へ誘えたのか？

白馬未来図 生徒の感想(部分抜粋)

”今、地球温暖化が進んでいて、道とかにゴミがたくさん落ちているのを見かける。だからみんなに声をかけたりして、自分たちにできることをしていきたい。だから二十年後はごみを 0 にして、どんどん減ってきている雪がまた増える白馬村にしたい。そして、お金が稼げたり白馬村そして県外、海外といった人たちも楽しく暮らせたり遊べたりしていける地域社会にしていきたい。今住んでいる人たちをなるべく自分たちができる限り幸せにしていきたい。😊”

”白馬と教育では、HIS の考え方やカリキュラムなどすごく印象に残っています。

これからの教育で大切なのは自分の強みを伸ばしていくことで、自主性や多様性など、著しく変化が進むなかで必要な力を身に着けることを考えて高校、大学へ進みたいと思いました。



なにかを変えるには批判や挫折は付き物だと思うけど、同じ目標を持つ仲間と進んでいくことの大切さを改めて実感しました。白馬をはじめとする社会や世界を変えるためにも何か1つ熱意をもって社会へ貢献できる人になりたいと思います。”

”今まで、誰かが決めたルールに従い、従わなかったら怒られる非常識。そういうものだと思っていたけど、お話を聞いて、ルールは自分たちで決めるもの、いやなら変えよう、よりよい生活に。というもののなんと、私の考えが変わりました。

20年後は、雪がたくさん降り、水もきれいで、山もすごくきれいで、冬だけではなく夏も楽しめる要素があり、観光客の人数がすごく多くなっている白馬にしたいな。と思いました。

今回来て頂いたゲストの方々のように、白馬を変えようとしている人がたくさんいて、「20年後」と長い日数だけど、今も20年後のことを考えて動いていて、すごいな。と思いました。私もできれば今の白馬を変えられる職業に就きたいな。と思いました。



私は、和田さんの話を聞きました。和田さんは、白馬を変えたいと思う気持ちがすごく強くて、私も白馬をいろんな面で支えていきたいなと思いました。今のままではなく、今後のたくさんの子供たちが過ごしやすい白馬を作り上げていきたいなと改めて思いました。

やはり白馬の未来を変えるには村民全員の白馬を誇りに思う気持ちと、行動する力が必要だと分かった。そして、今回話して下さった4人の方だけが行動していくのでは、未来はよくなるから、みんながついていくことが大切だと思った。SNSが白馬の観光を活性化させてくれるから、若者の力も必要である。20年後白馬に帰ってきたときに「やっぱり白馬はいいな」と思えるようにしたい。

僕もやっぱり白馬村が好きなので、世界に出てほかの国々を知りまた白馬村に戻ってきて、来てくださって4人のように白馬村を変えていける人間になりたいです。

”自分の考えでは、最初は自然いっぱいなところだけれど、就職などで県外に引っ越したらもう戻ってこないかなと思っていてけれど、今回の話を聞きいてから白馬をもっと愛せるように、自然を満喫しながら愛せるようにして、また、白馬に戻って来るようにしたいと思いました。



私が思う 20 年後の白馬は、4 人のゲストと同じように、住みやすく、みんなが協力して観光場所も今よりもっと、有名な観光地になるように考えを構築して、いい白馬にしていきたいです。

“私は普段不動産には興味がないけれど、橋本さんの話に興味を持ち今回初めて、不動産についての話を聞いたけれど、不動産にも大きな課題があり、例えば、白馬としては人口を増やすために、子育て世代には、少しでも安く土地を売ったりと、そのために色々と苦労しているのだなど、思いました。そのためにも、白馬の人口をもっと増やし、住み続けたいようなまちづくりをしていかなければならないと思いました。”



“二十年後の白馬なんて想像したことなかったから深く考えたことなんてなかったけど SDGs のことや土地問題について今回のお話を聞いて関心が深まった。二十年後の白馬をどういう風にするか私たちが考えていかなきゃいけないんだなと思うと、ちょっと重いなあと感じてしまうけど、故郷を守るためにいろいろと考えて、未来に向けていけたらなと思った。”

“橋本さんが白馬を好きになって上京しても白馬に帰りたくなったり、帰ったりしてほしいなどの話があったので、白馬を今も好きだけでももっともっと好きになりたいなと思った。橋本さんは賑やかな村作りを心掛けているから、にぎやかになるためポイ捨てなどを見つけたら拾うなどすこしでも白馬を綺麗にしたいと思った。”

” 俊郎村長さんのお話を聞いて、最初は白馬に来てもらう観光客は、普通の一般人などが来てくれると、思っていたけれど、俊郎村長さんのお話を聞きバリアフリーや、多様性を大事にしていきたいと聞き、多様性を大事にしていけば、観光客も増えるし移住者も来てくれるなと思い、考えが変わりました。

20 年後の白馬は、私的には色々な公共施設予約システムで、お金がかかるかもしれないけれど、障害者が求める過ごしやすいバリアフリーや、海外の方々でも分かりやすいように色々な言語のマナーをかい、誰が来ても過ごしやすい村づくりをしていきたいと思いました。また、介護職員も足りていないということで、誰もが簡単な介護ぐらいは出来るように、学校やそういうことを教えるイベントを開催させながらやっていくと介護職員の負担も減り、より介護職員になる人が増えると思うので、そういうことをやっていきたいです。



今回、普段忙しくお話を聞くことが出来ない俊郎村長さんに、これからの白馬の未来を分かりやすく、丁寧に教えてもらい、もっと白馬の未来が気になってきました。”

”これから白馬を発展させていくには、外国との多様性を持ち、認め、尊重しあうことが大切だということが分かった。世界水準のオールシーズンリゾートを目指していくうえで人手不足になる場合は AI を活用していく。白馬は生

物の多様性があるが、地球温暖化によって生態系が崩壊しつつあるため、クリーンエネルギーの推進や気候変動に関する宣言を出して補助金などを出して、個々で環境を守る活動をする人たちへのサポートをしている。白馬の豊かさとされる多様性をなくさないように、まず自分自身が多様性をはぐくんでいきたい。”



”開発は自然を壊す開発だけじゃない!!! 自然破壊をできるだけ少なくして行ってほしいな…20年後に世界に通じるところになるのは正直難しすぎるのはわかってるけど、無駄に建物立てて失敗して自然と金が少なくなっただけにはならないでほしい…!!! ちゃんと発展さ

せてくれ新村長…! できないならこのままでいい!

そうなれば大人になった私たちが戻ってくる気にもなるし、失敗だけはしないで…”

村長さんのお話を聞いて、村長さんは白馬の未来のためにたくさんのことを行っているんだなと思ったし本当に白馬のことを思っている行動なんだな、と思った。とくにユニバーサルデザインに配慮した図書館とか多様なアクティビティーとか面白そうだな、と思った。二十年後もまだまだ白馬はやっていけるな、と思ったし、多様な人たちが白馬にやってきそうだな、と思った。二十年後も白馬に住み続けることはないだろうと思っていたけど、もしかしたら…! っていう可能性ができました。

SDGs や環境へのことなどを聞いて白馬村をもっと大切にしたいと思ったし、自分も何かできることなどがあったらやりたいと思いました。二十年後の白馬が今よりもっといい村になってほしいと思った。みんなが楽しめる村を作るのはとても大切だと思った。楽しくしたらもっとお客さんとかが来ると思うし、もっと白馬村が有名になると思いました。そして白馬の自然は美しいのでこれからも守っていきたいと思いました。

俊郎村長がおっしゃった通り、今はこの雄大な自然の中でのびのび育て将来豊かな発想力が出せるように知識を蓄えたい。白馬のいろいろな施設を新しくするためにも産業を活性化させて、白馬の財源を増やせるようにしたいと思った。この環境で暮らせていることは当たり前ではない、と再確認できる良い機会となった。

”村長さんが短い二か月でそんなに白馬について考えて、実行していこうと考えている事例について教えていただけると思っていなかったのが、本当に興味深い話ばかりだった。

でも、新しいことにチャレンジしていくことばかりだけでなく、人と人とのつながりが大事で、村民の人がおもてなしの気持ちを持つことがさらに一番大切だとわかった。そして、多様性であることから交流し学びあい成長する村。村民ゴミ拾い day にはかなり興味があった。

本当にいい機会だったし、たくさんプロジェクトが具体的で、より興味深くなった。”

